

柏崎市議会の議会報告会を実施しました(5月15日～19日)

柏崎市議会による今年度1回目の議会報告会を行いました。そこで主に話題になった2つのことを以下に記します。



○新潟産業大学の公立大学法人化を検討

新潟産業大学の公立大学法人化については現時点では全くの白紙です。市としては大学の魅力向上のための補助金(毎年1,800～2,000万円くらい)は出していますし、今年度は公立大学法人化の可否を判断するための調査を行う予算(2,600万円)を計上しています。市としては今年度中に公立法人化の可否についての方向性を示す予定です。

また、今年度の大学への入学状況は、140人定員のところ入学生は102人、そのうち留学生が39人、スポーツ特待生が37人、通常の入学生が26人となっています。

今回の議会報告会への参加者は合計265人でした。大勢の皆様、ご参加、ありがとうございました。

○空き家対策事業

昨年度、空き家の状況について調査を行いました。市全域で1,397件の空き家があります(空家率4.0%)。その老朽度で4段階に区分しました。今年度は市として「空き家対策計画」を策定し、その後特に老朽化が進み危険な空き家(特定空き家)とされる物件(調査の段階では53件)に対しての取り組みを進めていきます。

町内会長さんでそれぞれの町内会の様子が知りたい場合は建築住宅課にお問い合わせください。

今年度2回目の議会報告会は11月6日(月)～10日(金)の予定

重野議員の県外視察

京都大学の渡辺助教(左:重野市議の教え子です)からiPS細胞の説明を受けました。



期 日	会 場	内 容
4月17日～19日 (会派視察)	京都大学	iPS細胞の研究など大学の先進的な研究施設の視察
	京都府舞鶴市	地方創生時代の政策と議会の在り方・引揚記念館視察
6月26日・27日 (会派視察)	群馬県高崎市	空き家緊急総合対策・介護SOSサービス
	群馬県みなかみ町	ユネスコエコパークとまちづくり
	東京おもちゃ美術館	廃校利用、ウッドスタート宣言・施設視察

*個人として、防災教育・放射線教育・同和教育などの研修参加や視察を行っています。

*柏崎市社会福祉協議会が月に1回行っている「こども食堂」への視察などを通して、生活困窮者自立支援についての研究活動を継続しています。

「重野まさき後援会」への入会を募集しています。ホームページからも入会できます。

★ホームページをリニューアルし、アドレスが変わりました。 <https://www.masakishigeno.com> info@m-shigeno.net

後援会事務所 ☎0257-24-1671 ★重野正毅はフェイスブックもしています★

人を、まちを、未来を、つなげる 重野まさき通信

第10号 平成29年7月7日発行

発行:重野まさき後援会
事務所:〒945-0072 柏崎市北園町19-47
連絡先:☎0257-24-1671
発行責任者:入澤 稔 [後援会内部討議資料]



重野議員は「議会運営委員会(副委員長)」「総務常任委員会」

今回の6月定例会議の初日に正副議長をはじめ新しい組織と役職を決め、その後活動が始まりました。重野議員は、今回から総務常任委員会に所属します。また、議会運営委員会の副委員長に就任しました。

議会運営委員会は、各会派の代表が集まり、議会の運営について協議し方向づけを行っていく、議会においては大変重要な委員会です。重野議員は当選1回の1年生議員ですが、その任期の後半に重要な役職を任されました。



各会派の代表が集まる議会運営委員会で副委員長を任されました。柏崎市議会がさらに発展していくように、真貝維義委員長と協力し、適切に、スムーズに委員会運営が行えるように、精一杯務めたいと思います。(重野正毅)

重野議員の議員活動の主な重点取組

教育環境の整備

- ・学校施設、通学路の環境整備
- ・柏崎が大好きな子どもの育成
- ・子どもたちの健全育成、自己実現への支援
- ・生活困窮者自立支援としての学習支援の充実
- ・特別支援教育の充実

エネルギー問題への研究

- ・原子力発電所の在り方
- ・新エネルギー開発に向けての研究

柏崎のよさのPR

- ・定住促進にむけての研究
- ・シティセールスの拡充
- ・ふるさと納税増収に向けての研究

人権尊重のまちづくり

- ・学校教育での人権教育、同和教育
- ・障害者差別解消法の尊重
- ・子どもの人権、LGBTの人権の尊重



安心安全で活力あるまちづくり

- ・町内会、コミセン活動の活性化
- ・空き家問題、放置自動車問題の研究
- ・防災、減災、防犯に視点をあてたまちづくり
- ・次世代が活躍できるまちづくり
- ・高齢者の活躍の場の拡充
- ・障害者の就労支援
- ・新庁舎建設とまちの活性化

スポーツ・文化の振興

- ・潮風公園の整備
- ・競技スポーツ、生涯スポーツ、ニュースポーツ等への支援
- ・文化芸術活動への支援

教職員の働き方改革

- ・多忙化解消の研究
- ・部活動改革の研究
- ・地域と学校との連携の強化
- ・ストレスチェックなど教職員の心身の健康確保対策

子育て支援

- ・安心して子を産み育てられるまちづくり
- ・就学前、高校生以降の支援の充実

6月定例会議終了～主な報告～

○新正副議長決定 議長：加藤武男議員(自治研究会) 副議長：笠原晴彦議員(社会クラブ)

○新庁舎建設

- ・木材をたくさん使ってほしい → 木造建築では行わない。庁舎内部に木材を使うことは考えている。
- ・瓦を利用した庁舎にしてほしい → 本庁舎及び付属棟の屋根に瓦を使う予定は今のところはない。
- ・現庁舎跡地は今年の夏以降に都市整備部と市民との会合をもって検討するが、現在考えていることとしては、「本館は2023年以降取り壊す」「第2分館および教育分館のいずれかまたは両方は市の施設として活用する」。

○8号柏崎バイパスの進捗状況

昭和63年に事業化、平成5年に工事に着手し、現在に至っている。平成28年度末までの進捗率は65%、総事業費は826億円。今年度事業は、「東原町から茨目間の丘江遺跡の調査」および「剣野地区の開削トンネルの概成と山岳トンネルの着手」。



重野議員の一般質問



1 生活困窮者自立支援としての子どもの学習支援について

(問題意識) 日本の子どもの貧困率が6人に1人(16%)くらいの割合からすると、貧困が大きな理由となり学習に身が入らない子どもたちが柏崎にもいるのではないかと。柏崎市では昨年度から、そのような状況にある子どもたちに訪問型の学習支援を始めた。今後は家庭に訪問することだけでなく、全市民的に呼びかけ、希望する子どもたちをどこかの会場に集めて行く、集合型学習支援を行ってはどうだろうか。

(市長答弁抜粋) まずは訪問型の学習支援対象世帯において学習支援を希望している全世帯で実施できるようにしていきたい。現在は学習支援協力員の不足、学習支援協力員との日時のミスマッチにより希望がかなえられていない実態がある。集合型の学習支援として、地域未来塾との連携をすることも視野に置いておきたい。しかし、この集合型学習支援をすぐに進めていくのではなく、現時点では訪問型学習支援の拡充を進めていく。この事業は拡充していきたいのだが、学習支援協力員の確保に苦慮している。学習支援協力員の登録数は28年度末で16名である(退職教職員7名、それ以外9名)。

学習支援協力員が不足しています。協力していただける方は社会福祉協議会(☎22-1411)へご連絡ください。

2 ふるさと納税について

(質問要旨) 平成28年の寄付額がおよそ5,600万円、市民が他の自治体にふるさと納税をした結果の市民税の減収がおよそ1,900万円。その差額はおよそプラス3,700万円。ここ数年着実に増加している。

そこで2つ提案。

- ①寄付してもらう方の気持ちを考え、用途の指定として「母校など学校の指定」「西山や高柳などの地域の指定」「学校へのエアコン設置や楽器の購入などの具体的な指定」などができるようにする。
- ②返礼品として特産品だけでなく、柏崎市を訪れてもらえるような「桜の木の植樹とプレートへの氏名の記載」「2つのマラソン大会への出場権」「大花火大会の観覧席(実施済)」「釣り船利用権」などを加える。と同時に、「ふるさと市民会員証の発行」「暑中見舞いや寒中見舞いの送付」の実施で柏崎を身近に感じてほしい。

(市長答弁抜粋) 興味深く聞かせてもらった。皆様方から共感を得て、その思いを生かしながら寄付額を上げることができるのは難しいところだと思うが、提案をいただいた具体的な用途の指定を含めて検討していく。

返礼品についてもやっていることを含め、より一層バラエティに富んだ返礼品になるように検討していきたい。実際に現在は返礼品として柏崎で多いのはお米。どういった部分が寄付をしていただいた方の気持ちに寄り添えるのか、提案されたものを含め検討していく。



3 柏崎市の学校教育でのICT活用について

(問題意識) 学校ではICT教育、つまりパソコンやインターネットを使った授業、を一層充実していく必要を感じる。現在、柏崎市ではICT教育を行う上での整備状況はどの程度なのか。また、それを使う教職員の研修を進めることと同時に、その機器を実用的で活用しやすいものへ更新していくことは必要なことだと考える。

(教育長・市長答弁抜粋) 市としての学校へのパソコン設置は児童生徒4.6人に1台。県の平均は5.7人に1台なので県を上回っているが、国の目標3.6人に1台は果たされていない。すべての小中学校でデジタル教科書が利用できる状況なのは県内では本市を含め5市町村しかない。

インターネットの環境では、回線の性能は低くケーブルが老朽化しており、児童生徒が一斉にインターネットに接続しようとするとう動作に制限がかかることがある。8月には性能を向上させる。また、電子黒板機能が内蔵された大型テレビの導入も考えられるが、財政面も考えながら、今後の整備に向けて計画的かつ長期的な視点でより一層学習環境を効果的にしていくため、教育委員会からの意見をもとに必要な機器の導入を検討していきたい。

私も重野議員を応援しています!!



「N君のこと！」

重野まさき後援会員 姉崎 次弥(荒浜在住 ヘルスケアトレーナー)

それは重野市議がまだ中学校の先生をしていた時のことでした。某中学校の生徒だったN君はとても体格が大きく、腕力もあり、正義感の強い男の子でした。しかし、まだ自分の意思や感情を言葉としてうまく表現できないところがあった彼はあるとき、先輩と腕力で勝負してしまいました。もちろん彼には彼の言い分がありました…。でも結果としては、けんか=暴力=乱暴者というラベルを貼られてしまうのが今の時代なのです。彼は自分の正義感と社会の評価、不条理との間で悩み、またそれを上手に言葉に変換できないことで不安定になり、負のスパイラルにはまっていました。そんな時、汗をかく素晴らしさ、スポーツの楽しさを知っている重野先生が、「一緒に陸上をしないか？」と声をかけました。N君は即、その話に乗りました。N君は砲丸投げに取り組み、重野先生の熱血指導とクラス担任や他の先生、仲間の協力で見事地区大会で優勝したのです。

どうですか？ 梓にはまりきらない子どもであっても一人の人として認め、達成感を味わわせ、決して落ちこぼさない。こんな重野先生が学校の中だけでなく、生徒を子どもたちをもっと羽ばたかせたい、さらに伸ばしたいと考え、安定した公立学校教員の道を飛び出し、真の教育と福祉を訴え、さらなる柏崎の発展を思い、政界にJUNPUしました。みんなで重野先生の話聞いてみませんか？ きっと応援したくなりますよ!!

9月定例会議(含む決算委員会)の予定

9月5日(火)～10月10日(火)

9月8日(金)・11日(月)が一般質問